

各位

米子市総務部契約検査課

入札説明書

市が行う建設工事の工事希望型指名競争入札を下記のとおり行いますから、希望があれば米子市建設工事執行規則（平成17年米子市規則第106号）及び米子市会計規則（平成17年米子市規則第44号）を承知のうえ参加してください。

記

工事希望型指名競争入札に付する工事	工 事 名	皆生漁港 物揚場(4-5)保全工事		
	工 事 場 所	米子市新開四丁目地内	工期	契 約 日 から 令和5年3月25日まで
契 約 条 項 を 示 す 場 所		米子市総務部契約検査課		
担 当 課		水産振興室		
入札保証金に関する事項		入札保証金	免除	
現 場 説 明 会		なし		
開 札 の 日 時 及 び 場 所		日時 場所	令和4年7月20日 午前9時40分 開札 本庁舎202会議室	
契 約 保 証 に 関 する 事 項	請負代金の額が130万円を超える工事については、契約の締結と同時に請負代金額の10分の1以上の額を保証する次の各号の一に掲げる保証を付さなければならない。 (1) 契約保証金の納付 (2) 契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供 (3) 銀行若しくは市長が確実と認める金融機関又は保証事業会社（公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証事業会社をいう。以下同じ。）の保証 (4) 公共工事履行保証証券による保証 (5) 履行保証保険契約の締結			
前 払 金	有	40%以内 ※ただし、請負代金の額が130万円を超える場合に限る		
部 分 払	有	回数 は、米子市建設工事執行規則による ※部分払いに替えて中間前払の選択も可		
入札に関する 注 意 事 項	1. 開札前天災地変等のやむを得ない事由が生じたとき、又は競争の意思がないと認められるときは、入札の執行を中止し、又は取り止めることがある。 2. 入札参加者が1者であっても、入札を執行するものとする。 3. 入札に参加する者に必要な資格のない者のした入札及び米子市郵便入札実施要領第4条に定める入札は、無効とする。 4. 入札者は、到達した入札書は、書換え、引換え又は撤回することができない。 5. 入札者は、入札書到達後においても入札執行の完了までは入札の参加を辞退することができる。 6. 落札となるべき価格と同一価格の入札をしたものが2人以上あるときは、当該入札者にくじを引かせて、落札者を決定するものとする。この場合において、くじを引くべき入札者が、当該入札の立会者として参加している場合はその者が、参加していない場合は入札事務に関与しない職員に当該入札者に代わってくじを引かせるものとする。 7. 本件工事は、米子市建設工事最低制限価格設定要領に定める方法により、予定価格の2/3(ただし、8/10を下回る場合は、8/10とする。)以上で最低制限価格を設定しており、最低制限価格を下回る価格で入札があった場合は、当該入札者を失格とし、予定価格の範囲内の価格で入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とする。 8. 入札書に工事費内訳書が同封されていない場合は、無効とする 9. 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に10%に相当する額を加算した金額をもって落札価格(円未満切捨て(単価契約を除く。))とするので、入札者は、消費税に係る課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積った契約希望価格の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。 10. 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和22年法律第54号)等に抵触する行為を行ってはならない。 11. 入札回数は、1回とする。			
そ の 他 の 注 意 事 項	1. 米子市工事希望型指名競争入札実施要領に定める経営内容等が不健全な申込者及び工事成績が不良な申込者は、不指名とすることがある。また、同一入札における資本的、人的関係にある複数の申込者のうち1者のみを指名し、他の者を不指名とすることがある。 2. 申込時に届けのあった配置予定技術者の変更は、入札書差出期限まで変更可能とし、その後の変更は原則として認めないものとする。 3. 同一の主任技術者は、米子市が発注した工事(通常型指名競争入札及び随意契約によるものを除く。)に3件を超えて従事することはできないものとする。 4. 別に定める「建設工事に係る配置予定技術者の取扱いについて」における重複申込者に該当する者は、配置予定技術者重複届出書を所定の方法により提出すること。なお、入札結果により配置予定技術者がいなくなった場合は、失格とする。 5. 工事現場に配置する技術者等(主任技術者、監理技術者及び現場代理人をいう。)は、当該建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係(第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係が存在することをいう。)が申込日までに3ヶ月以上ある者に限るものとする。			
施工に関する 注 意 事 項	1. 工事設計図書 別紙のとおり 2. 本工事の施工にあたっては、鳥取県制定「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」、「公共建築工事標準仕様書」又はその他別に定める仕様書等に基づき実施しなければならない。 3. この契約に係る工事の施工にあたっては、ダンプカー協会加入車を優先的に使用するように努めること。 4. 工事着手前に自治会長及び地元関係者に連絡すること。			
米子市建設工事執行規則第14条により公にする予定価格		¥80,894,000		
最低制限価格		[直接工事費＋共通仮設費＋現場管理費の9/10＋一般管理費5.5/10)×1.]		

工 事 設 計 書

令和 4 年度	工 事 名	皆 生 漁 港 物 揚 場 (4-5) 保 全 工 事				
設 計 金 額	円	部 長	課 長	担当課長補佐	審 査	設 計
工 期	令和5年3月25日迄					
工事場所	米 子 市 新開四丁目地内					
工 事 概 要	4-5物揚場 施工延長 L= 57.17m					
	本体工(鋼矢板式) 1 式					
	上部工 1 式					
	付属工 1 式					
	土工 1 式					
	舗装工 1 式					
	構造物撤去工 1 式					
	仮設工 1 式					

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る特記仕様書

1 目的・主旨

本特記仕様書は、工事及び業務（以下「工事等」という。）における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に必要な事項を定めたものである。受注者は本特記仕様書に従って感染拡大防止に取り組むとともに、感染者等が確認された場合には発注者に速やかに報告するなど、感染拡大防止に向けて適切に対応すること。なお、感染状況の変化等により感染拡大防止対策の変更を指示する場合がある。

2 感染拡大防止に向けた取組

(1) 現場等における感染拡大防止対策

次の感染拡大防止対策を徹底すること。

- ① 工事の現場等においては、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、手洗い、うがいなど、感染予防の対応を徹底するとともに、発熱症状がみられる者の休暇の取得など、すべての作業従事者等の健康管理に留意すること。
- ② 元請事業者をはじめ、下請事業者や技能者など、施工に携わるそれぞれの立場において、極力、三つの密を回避する対策やその影響を最大限軽減するための行動をとること。特に、建設現場における朝礼・点呼や現場事務所などにおける各種の打合せ、更衣室等における着替えや詰め所などでの食事・休憩等、現場で多人数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業員と一定の距離を保つことや作業場所の換気の励行など、感染防止対策に取り組むこと。また、別紙の「3つの密を避けるための手引き」を全ての作業従事者に周知するとともに、現場事務所等で掲示（掲示は工事のみ）を行い、三つの密の回避や影響を緩和するための対策に万全を期すこと。
- ③ 作業従事者（下請事業者含む）が、鳥取県の指定する感染流行嚴重警戒地域（Ⅳ）、感染流行警戒地域（Ⅲ）、緊急事態措置区域及び、まん延防止等重点措置区域から新たに転入（通勤者を除く）する場合は、転入する前の7日間はやむを得ない場合を除き外出を自粛し、その後にPCR検査を実施し陰性であることを確認した上で、その結果を事前に監督員等に報告し転入すること。また、感染注意地域（Ⅱ）から新たに転入（通勤者を除く）する場合は、転入する直前にPCR検査を実施し陰性であることを確認した上で、その結果を事前に監督員等に報告し転入すること。外出自粛中の行動履歴及びPCR検査の結果については、確認することのできる書類を転入前に監督員等に提出すること。この対策に要する費用については、感染防止対策に係る経費として設計変更の対象とするため、事前に監督員等に協議すること。

(2) 県外製作工場での監督員等の立会に検査（出来形・品質）

県外の製作工場における監督員等の立会による検査は行わないこととする。なお、受注者は自主検査を行い、検査結果を監督員に提出し、監督員は書面で検査結果の確認を行うこととする。

(3) 工事等の書類の提出及び受発注者間の打合せ

書類の提出及び受発注者間の打合せは次のとおりとする。

① 書類の提出について

ア 書面による指示、承諾、協議、提出、提示、報告及び通知は、やむを得ない場合及び契約関係書類を除き電子メールにより提出することとする。

※契約関係書類：契約書、現場代理人選任（変更）通知書、主任技術者等（変更）選任通知書、工程表、完成通知書、請求書、工事出来形部分等確認願

イ 押印書類は押印後にスキャンし、PDFに電子化したうえで電子メールにより送付する。受理、承諾等の押印後は、押印後の書類を電子化し相手方に電子メールにより送付する。

ウ 発注者又は受注者の環境、添付書類が多く電子化することが困難な書類など、電子メールによる送付が困難な場合は、事前に監督員等と協議を行うこと。

② 受発注者間の打合せ

ア 打合せは、事前に電子メールなどにより打合せに必要な書類を提出したうえで、WEB会議システム、電話、情報共有システム等を活用し、やむを得ない場合、現場立会を除き、対面による打合せは行わないこととする。

イ やむを得ず対面による打合せを行う場合、現場立会を行う場合は、以下の点に留意すること。

- ・①密閉空間、②密集場所、③密接場面の3つの条件を避けること。
- ・最小限の人数で実施するよう双方で働きかけを行う。
- ・マスク着用を推奨する等、感染予防を徹底する。
- ・打合せ等に参加した全員の氏名を受発注者双方で記録すること。

3 感染拡大防止対策に係る経費の設計変更

追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施する場合には、実施内容について発注者と協議を行い、必要と認められる対策については、変更施工計画書（又は変更業務計画書）を提出すること。なお必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。

4 感染等が確認された場合の対応

新型コロナウイルス感染症の感染等が確認された場合には、別紙1及び別紙2により対応すること。

5 新型コロナウイルス感染症に係る工事等の一時中止措置等について

新型コロナウイルス感染症の罹患や学校の臨時休業等の感染拡大防止措置に伴い技術者等が確保できない場合、また、これらにより資機材等が調達できないなどの事情で現場の施工を継続することが困難となった場合のほか、受注者から一時中止や工期又は履行期間の延長（以下「一時中止等」という。）の申出があった場合においては、一時中止等を希望する期間のほか、受注者の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組状況、地方公共団体からの活動自粛要請等の事情を個別に確認した上で、必要があると認められるときは、工期の見直し及びこれに伴い必要となる請負代金額の変更、一時中止の対応等、適切な措置を行う。

6 下請負人への配慮及び元請負人と下請負人との間の取引の適正化

下請契約においても、工期の見直しや一時中止の措置等を適切に講じるとともに、請負代金の設定及び適切な代金の支払など、元請負人と下請負人との間の取引の適正化のより一層の徹底に努めること。

~~7 測量等業務における検査について~~

~~原則対面検査は実施しない。WEB会議システム、電話等を活用し検査を実施する。~~

3つの密を避けるための手引き!

- 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、咳エチケット、手指衛生等に加え、**「3つの密(密閉・密集・密接)」**を避けてください。
- 3つの密が重ならない場合でも、リスクを低減するため、できる限り**「ゼロ密」**を目指しましょう。
- 屋外でも、密集・密接には、要注意。人混みに近づいたり、大きな声で話しかけることなどは避けましょう。



厚生労働省フリーダイヤル

厚労省 コロナ

検索

0120-565653



①「密閉」空間にしないよう、こまめな換気を!

「部屋が広ければ大丈夫」、「狭い部屋は危険」というものではありません。カギは「換気の程度」です。WHOも、空気感染を起こす「結核・はしかの拡散」と「換気回数の少なさ」の関連を認めています。

窓がある場合

- ・風の流れることができるよう、**2方向の窓を、1回、数分間程度、全開**にしましょう。換気回数は**毎時2回以上**確保しましょう。
- ・窓が1つしかない場合でも、入口のドアを開ければ、窓とドアの間に空気が流れます。扇風機や換気扇を併用したり工夫すれば、換気の効果はさらに上がります。



機械換気がある場合

- ・窓がない施設でも、建物の施設管理者は、法令により感染症を防止するために合理的な換気量を保つような維持管理に努めるよう定められています。
注)ビル管理法により、不特定多数の方が利用する施設では、空気環境の調整により、一人当たり換気量(毎時約30m)を確保するよう努めなければなりません。
- ・したがって、地下や窓のない高所の施設であっても、換気設備(業務用エアコン等)によって換気されていることが通常のため、過剰に心配することはありません。
- ・しかし油断は禁物です。換気量をさらに増やすことは予防に有効です。冷暖房効率は悪くなりますが、窓やドアを開けたり、換気設備の外気取入れ量を増やしましょう。また、一部屋当たりの人数を減らしましょう。
- ・通常の家庭用エアコンは、空気を循環させるだけで、換気を行っていません。別途、換気を確認してください。また、一般的な空気清浄機は、通過する空気が換気量に比べて少ないことから、新型コロナウイルス対策への効果は不明です。

乗り物の場合

- ・乗用車やトラックなどのエアコンでは、「内気循環モード」ではなく**「外気モード」**にしましょう。
- ・電車やバス等の公共交通機関でも、**窓開け**に協力しましょう。



厚生労働省フリーダイヤル

厚労省 コロナ

検索

0120-565653



②「密集」しないよう、人と人の距離を取りましょう!

- ・他の人とは互いに手を伸ばして届かない十分な距離(**2メートル以上**)を取りましょう。



- ・スーパーのレジなどで列に並んでいるとき、前の人に近づきすぎないように注意しましょう。

- ・飲食店の座席では、**隣の人と一つ飛ばしに座る**と、距離を確保しやすいです。

また、真向かいに座らず、**互い違いに座る**のも有効です。

店舗の責任者は、椅子の数や配置を工夫して、十分な距離を保ちましょう。



- ・エレベーターでは、多くの人が密集しがちです。混みあっているときは、一本遅らせましょう。また、健康のためにも、階の上下には階段の利用に努めましょう。



- ・職場は、工夫してテレワークへ転換しましょう。導入に向けた支援策もあります。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#hatarakuka



厚生労働省フリーダイヤル

厚労省 コロナ

検索

0120-565653



③「密接」した会話や発声は、避けましょう!

- ・密接した会話や発声は、ウイルスを含んだ飛沫を飛び散らせがちです。WHOは「5分間の会話で1回の咳と同じくらいの飛まつ(約3,000個)が飛ぶ」と報告しています。



- ・対面での会議や面談が避けられない場合には、**十分な距離を保ち、マスクを着用**しましょう。



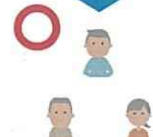
- ・エレベーターや電車の中などでは、距離が近づかざるを得ない場合があります。**会話や携帯電話による通話を慎み**ましょう。



- ・飲食店では、マスクを外す時間が長くなりがちです。外している間に飛沫が飛ぶことを抑えるには、例えば多人数での会食のように、大声にならざるを得ない催しは慎みましょう。家族以外の多人数での会食などは避けましょう。
注)「多人数」とは10人以上を想定していますが、なるべく少ない方がいいです。



- ・スポーツジムなど、多人数かつ室内で呼気が激しくなるような運動を行うことは避けましょう。



- ・喫煙も、近くにいる人との「密」に、こののほかに注意して下さい。



厚生労働省フリーダイヤル

厚労省 コロナ

検索

0120-565653



**新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた
工事及び業務の対応について**

**1 工事及び業務（以下「工事等」という。）で新型コロナウイルス感染症の感染等が確認された場合の
対応（以下「当対応」という。）（別紙2参照）**

(1) 対象者

発注者:監督員、調査職員（以下「監督員等」という。）を対象とする。

受注者:現場で直接作業する作業従事者（現場代理人、主任技術者、監理技術者、担当技術者、
作業員（下請含む）及び業務で配置される全ての配置技術者）（以下「作業従事者」とい
う。）を対象とする。（社内の事務員、他現場の作業従事者は、接触者、濃厚接触者に該
当する場合であっても当対応の対象外）

(2) 用語の定義

現場等:作業場、事業所等をいう。工事においては工事現場、現場事務所及び休憩所、業務につ
いては執務を行っている事務所をいう。

陽性者:PCR検査により、新型コロナウイルス感染症の感染が確認された者

濃厚接触者:保健所が濃厚接触者に該当すると判断した者

接触者:PCR検査で陽性が判明した当該現場等作業従事者と、陽性が判明した日から遡って一
週間以内に会話した者

感染の疑いがある者:濃厚接触者、接触者及び咳や発熱等、新型コロナウイルス感染症が疑われ
る症状を呈している者

(3) 感染の疑いがある者が確認された場合の対応

ア 感染の疑いがある者が受注者側の作業従事者に確認された場合

別紙2 「[1] 該当者が受注者側の作業従事者の場合」により対応。

イ 感染の疑いがある者が発注者側の監督員等確認された場合

別紙2 「[2] 該当者が発注者側の監督員等の場合」により対応。

(4) 注意事項

ア 陽性者について

陽性者は、保健所、医療機関等の指導に従う。

陽性者の現場作業への復帰時期についても医療機関等の判断に従う。

イ 濃厚接触者について

濃厚接触者は、保健所の指導に従う。

濃厚接触者の健康観察期間（待機期間）は最終曝露日（陽性者との接触等）から7日間とする。

ただし、道路の除雪業務に従事する者は社会機能維持者として、下記をすべて満たす場合に限り、
受注者判断により濃厚接触者の健康観察期間（待機期間）の短縮を行うことができる。

①当該濃厚接触者が無症状であること

②最終曝露日から5日目にPCR検査若しくは抗原定量検査、又は4日目と5日目に抗原定性検査を
行い、陰性を確認

③待機解除後に業務従事する際は、感染対策を徹底し、10日目までは当該業務以外の不要不急の外出は極力控え、公共交通機関の利用を避けること。

※待機期間短縮に係る詳細については、「新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の待機期間等について」(<https://www.pref.tottori.lg.jp/302385.htm>)を参照すること。

ウ 接触者について

接触者に該当するか否かは受発注者がそれぞれ判断する。

パーティションの使用、マスク着用の有無を問わず、現場等において、陽性が判明した日から遡って一週間以内に陽性者と会話した者は接触者となる。

接触者はPCR検査で陰性が確認されるまで自宅待機(在宅勤務)とする。

エ (3)アにおける、「現場等の安全が確保されたか」について

工事等の一時中止を解除するにあたり、保健所の指導に従い、機械設備、現場等の消毒作業を実施する。特に保健所から指導が無い場合、消毒完了をもって安全が確保されたとみなす。

オ (3)イにおける、「工事等の一時中止の要否を検討」について

現場等の作業継続が可能な場合、監督員等の追加・変更(通知)や段階確認の臨場を机上とする(指示)等、現場等が継続できるよう監督員体制等の確保に努める。

2 工事等の書類の提出及び打合せについて

(1)工事等の書類の提出

ア 書面による指示、承諾、協議、提出、提示、報告及び通知は、やむを得ない場合及び契約関係書類を除き電子メールにより提出することとする。

※契約関係書類:契約書、現場代理人選任(変更)通知書、主任技術者等(変更)選任通知書、
工程表、完成通知書、請求書、工事出来形部分等確認願

イ 押印書類は押印後にスキャンし、PDFに電子化したうえで電子メールにより送付する。

受理、承諾等の押印後は、押印後の書類を電子化し相手方に電子メールにより送付する。

ウ 受注者の環境、添付書類が多く電子化することが困難な書類など、電子メールによる送付が困難な場合は、事前に監督員等と協議を行うこと。

(2) 受発注者間の打合せ

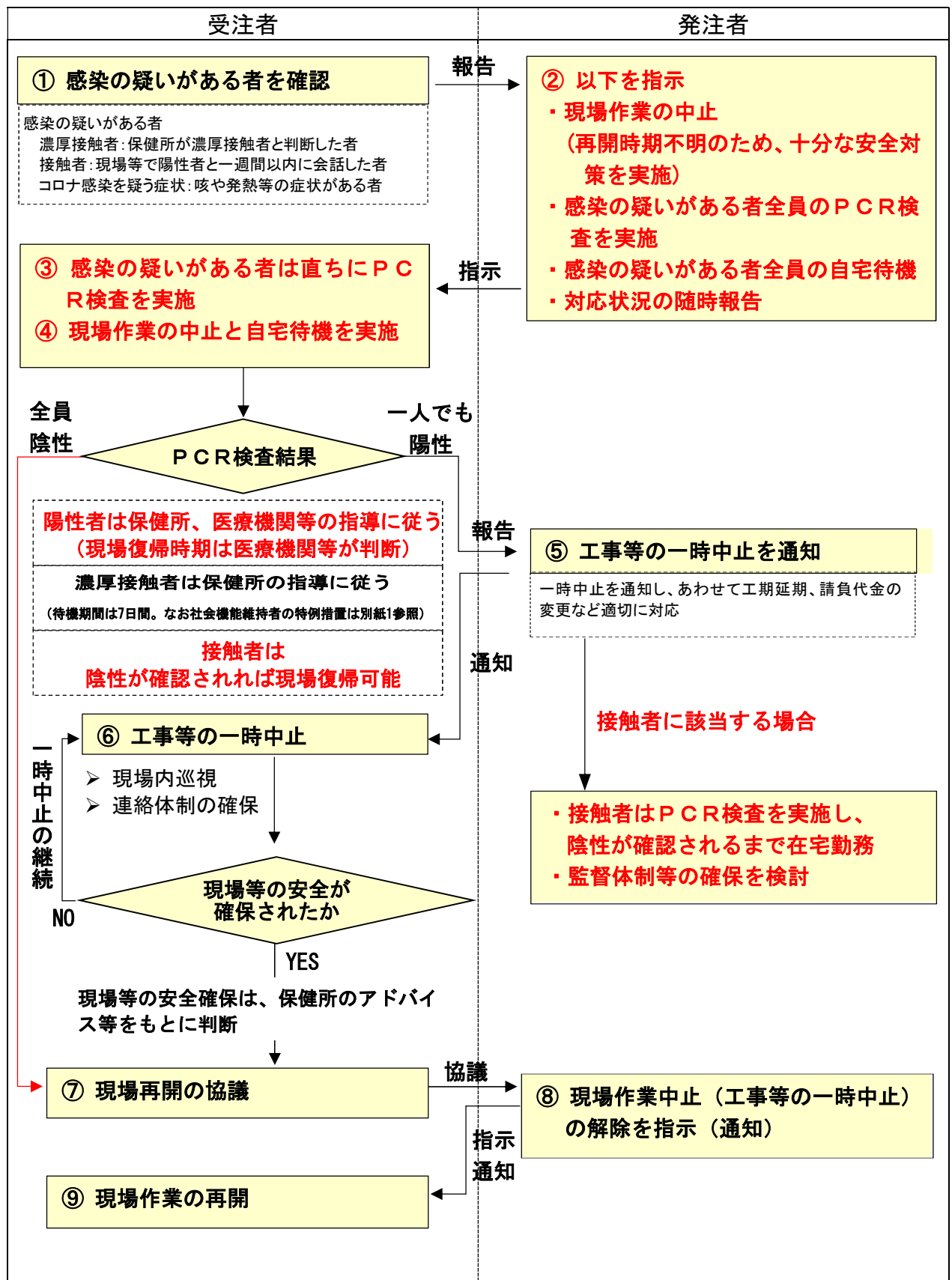
ア 打合せは、事前に電子メール等により打合せに必要な書類を提出したうえで、WEB会議システム、電話、情報共有システム等を活用し、やむを得ない場合、現場立会を除き、対面による打合せは行わないこととする。

イ やむを得ず対面による打合せを行う場合、現場立会を行う場合は、以下の点に留意すること。

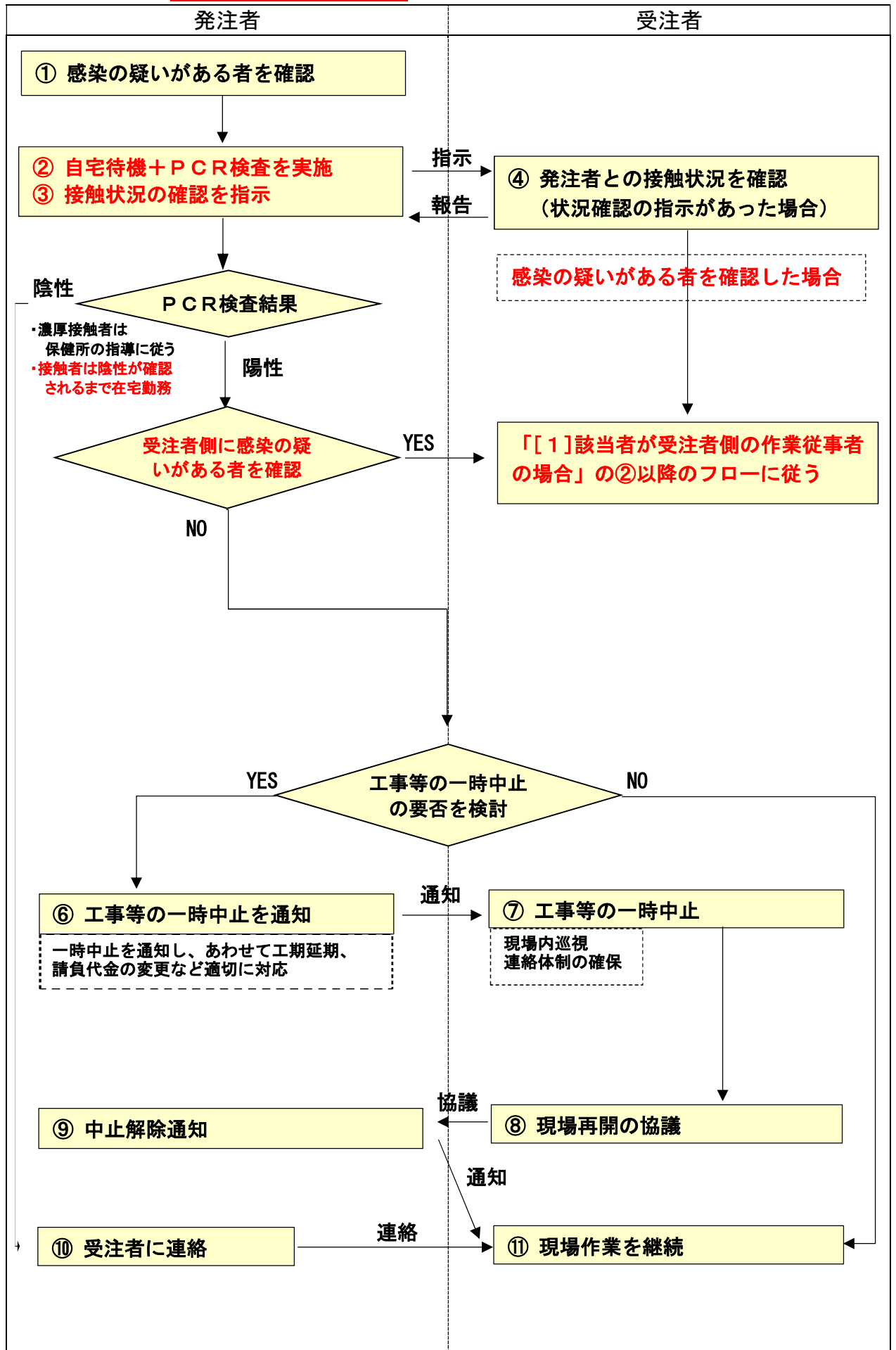
- ・①密閉空間、②密集場所、③密接場面の3つの条件を避けること。
- ・最小限の人数で実施するよう双方で働きかけを行う。
- ・マスク着用を推奨する等、感染予防を徹底する。
- ・打合せ等に出席した全員の氏名を受発注者双方で記録すること。

工事等で新型コロナウイルス感染症の感染等が確認された場合の対応

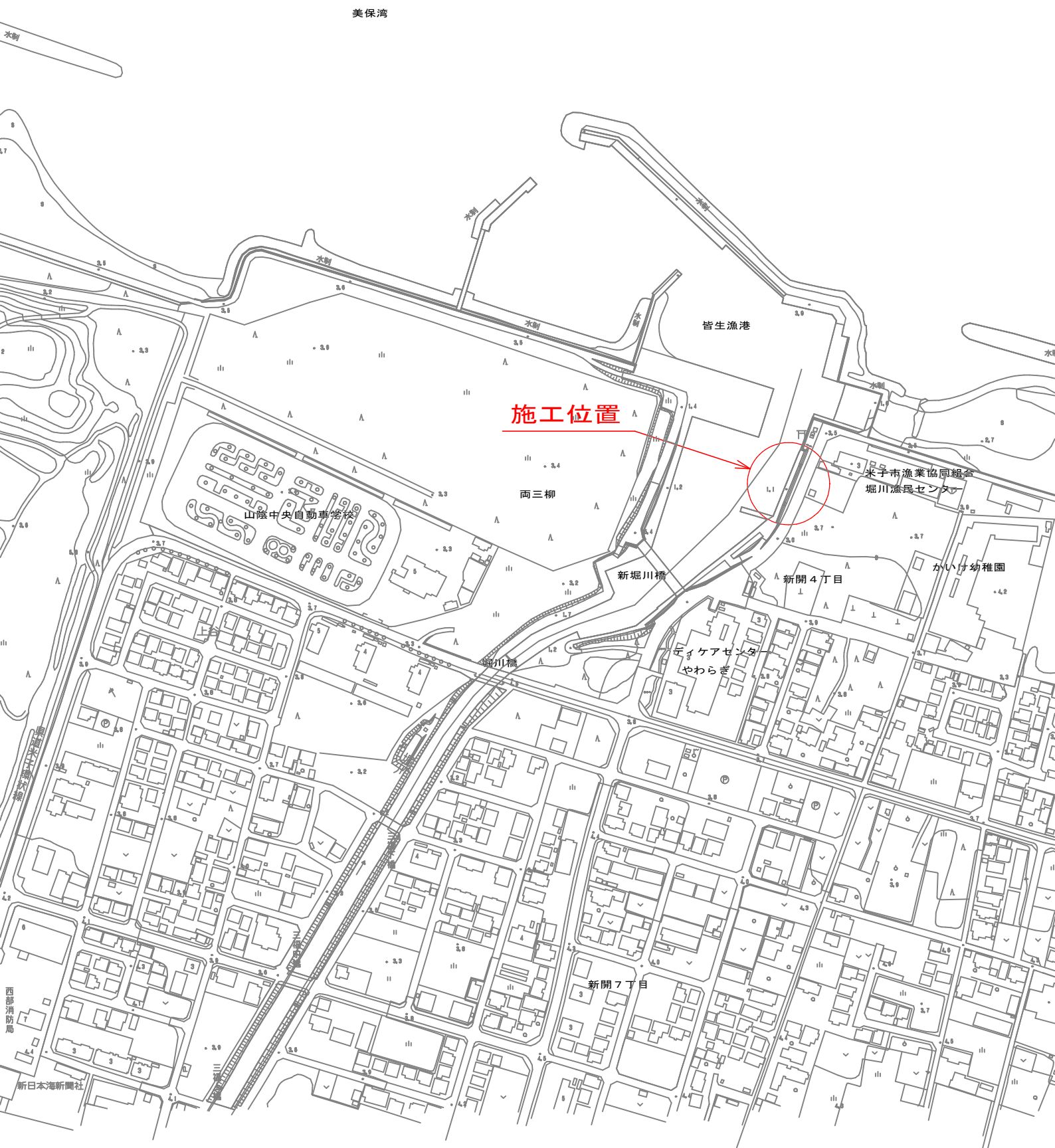
〔1〕 該当者が受注者側の作業従事者の場合



[2] 該当者が発注者側の監督員等の場合



位置図 S=1/4000



数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
本体工(鋼矢板式)				式	1	
	鋼矢板工			式	1	
		鋼矢板	SP-25H型, 杭長10.0m, 重防食被覆面積A=1.54㎡/枚	枚	64	
		鋼矢板荷卸		枚	64	
		鋼矢板打込	SP-25H型	枚	64	
		腹起し		m	56	
		中詰コンクリート	水中コンクリート	m3	45	
上部工				式	1	
	上部コンクリート工			式	1	
		鉄筋	鋼矢板式, D13	kg	398	
		鉄筋	鋼矢板式, D16	kg	727	
		型枠	鋼製型枠組立組外(鋼矢板式)	m2	132	
		伸縮目地		m2	3	
		コンクリート	コンクリート打設 σ _{ck} =24N/mm ²	m3	32	
		支保工	支保組立組外(鋼矢板式)	m	57	
付属工				式	1	
	係船柱工			式	1	

数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
		係船柱	30kN, 直柱	基	11	
		係船柱基礎コンクリート		基	11	
	防舷材工			式	1	
		防舷材	L=1. 0m	基	12	
		防舷材	L=2. 0m	基	11	
		梯子	L=1. 5m	基	1	
	車止・縁金物工			式	1	
		車止め	150×150, L=1. 5m	基	20	
		車止め	150×150, L=2. 0m	基	2	
		縁金物	100×100(先施工タイプ)	m	57	
	電気防食工			式	1	
		取付金具製作		組	18	
		取付金具取付		組	18	
		陽極取付	アルミニウム合金陽極, 1. 5 A-50年型	個	16	
		陽極取付	アルミニウム合金陽極, 2. 0 A-50年型	個	2	
		電位測定装置取付		個	2	
	付属設備工			式	1	

数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
		係船環	SUS材 φ 25, 環径200mm	個	10	
土工				式	1	
	土工			式	1	
		掘削	土砂	m3	180	
		路体(築堤)盛土	B<2.5m, 購入土	m3	160	
	残土処理工			式	1	
		土砂等運搬		m3	180	
		残土等処分		m3	180	
舗装工				式	1	
	コンクリート舗装工			式	1	
		路盤	路盤材敷均し転圧, RC-40, t=15cm	m2	190	
		コンクリート舗装	σ ck=18N/mm2, t=20cm, 鉄網あり	m2	207	
		鋼製型枠		m	41	
		施工目地	エラストイト t=10mm, H=200mm	m	127	
		施工目地	エラストイト t=10mm, H=360mm	m	59	
構造物撤去工				式	1	
	取壊し工			式	1	

数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
		コンクリート取壊し	鉄筋構造物	m3	32	
		コンクリート取壊し	無筋構造物	m3	3	
		舗装版破砕	コンクリート舗装版, t=15cm以下	m2	184	※鉄網あり
	撤去工			式	1	
		係船柱撤去	5t用, 曲柱	基	5	処分
		係船環撤去		環	13	処分
		防舷材撤去	H150, L=1.1m	基	14	処分
		梯子撤去	漁港用	基	1	処分
		松杭撤去		本	65	処分
		立入防止柵撤去		式	1	
		既設矢板 切断・撤去	ガス切断, 鋼矢板 I 型, 撤去長0.4m	枚	33	切断長 0.4m/枚
	運搬処理工			式	1	
		殻運搬	コンクリート取壊し(鉄筋)	m3	32	
		殻運搬	コンクリート取壊し(無筋)	m3	3	
		殻運搬	Co舗装版破砕	m3	28	
		殻処理	コンクリート殻(鉄筋)	t	149	
		殻処理	コンクリート殻(無筋)	t	7	

数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
		現場発生品運搬	鋼矢板 I 型, L=0. 4m	t	1	
		現場発生品運搬	係船柱 5t用, 曲柱	t	0. 4	
		現場発生品運搬	防舷材 H150, L=1. 1m	t	1	
仮設工				式	1	
	仮設鋼矢板工			式	1	
		鋼矢板打設		式	1	
		鋼矢板引抜		式	1	
		建設機械器具等運搬	クロークレーン分解・組立・輸送	式	1	
		仮設材運搬費	鋼矢板	式	1	
	安全対策	警戒船運転		式	1	
		機雷調査		式	1	
		交通誘導員		式	1	

1 仕様書

この契約において仕様書とは、特に定めない限り「鳥取県土木工事共通仕様書」をいう。

2 下請関係の合理化について

- (1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は、「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い本指針の遵守に努めること。
- (2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払い、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。
- (3) 請負者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図下に変更があったときは、変更が生じた日から20日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。
- (4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。

3 建設資材等について

- (1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。
- (2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。
- (3) 工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。
- (4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
 - ① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。
 - ② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。

4 工事の安全確保について

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。

5 建設機械の使用について

- (1) 標準操作方式建設機械を使用するよう努めること。
- (2) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。
- (3) 排ガス対策型建設機械の使用については、排ガス対策型建設機械の使用基準について（平成17年11月15日付第200500080172号県土整備部長通知）によること。

6 団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

7 ダンプトラック等による運搬について

- (1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにすること。
- (2) さし柵装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。
- (3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当たって、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
- (7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。
- (8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

8 不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等を使用しないこと。

9 建設業退職金共済制度への加入等

- (1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。
- (2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。
- (3) 請負業者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

10 建設業法の遵守について

- (1) 建設業法（昭和24年法律第100号）に違反する一括下請その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
- (2) 建設業法第26条の規定により、請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または、専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
- (3) 請負業者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、1級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
- (4) 建設業法第40条の規定により、請負業者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
- (5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

11 労働基準法の遵守

この契約に係る工事の施工に当っては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週40時間を遵守すること。

12 建設業からの暴力団排除の徹底について

- (1) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

13 現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

- (1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。
- (2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（3か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者が有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に参加するよう指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15 産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

16 コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比

コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、一般環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては5.5パーセント以下、無筋コンクリートについては6.0パーセント以下とする。

17 消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

18 その他

- (1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。
- (2) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。
- (3) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。
- (4) 労務費については、法定労働時間週40時間を考慮したものとしている。
- (5) 請負業者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負業者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(6) ほ装単独工事（アスファルト）においては、表層工、基層工及び上層路盤工を自社施工しなければならない。ただし、表層工、基層工及び上層路盤工であっても特殊工法部分についてはこの限りでない。

(7) 契約書第 25 条第 5 項及び第 6 項の対応については、鳥取県県土整備部「建設工事請負契約書第 25 条第 5 項の運用」、「賃金等の変動に対する工事請負契約書第 25 条第 6 項（インフレスライド条項）運用マニュアル」に基づき請求を行うこと。

現場説明書

令和4年1月6日改正
特記事項1

仕様書	本工事の施工に当たっては、契約日現在の次に掲げる仕様書等によること。 ・ <u>鳥取県土木工事共通仕様書</u> ・ <u>漁港漁場関係工事共通仕様書</u> ・ <u>港湾工事共通仕様書</u>	
工程	①（他工事等との調整） ②（部分完成、着工保留） ③（施工時間） ④（余裕期間設定工事） ⑤（鋼材の調達の遅れによる工期の延長） ⑥（週休2日モデル工事）	_____については、_____と関連するので相互の連絡を密にすること。 _____については、_____まで_____（すること ・ しないこと）。 本工事の施工時間は、<u>8:30</u> ～ <u>17:00</u> とする。 本工事は、米子市余裕期間設定工事に係る実施要領（令和3年4月1日施行）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____か月を見込んでいるが、請負者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 本工事は、米子市「週休2日工事モデル工事」試行実施要領（土木工事）（令和3年4月1日施行）の対象工事である。モデル工事を選択する場合は、工事着手日までに発注者に協議をすること。選択後の取扱いについては、同要領の規定による。
用地関係	①（用地・物件等未処理）	本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合わせのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査） ②（支障物件） ③（立木の置き場所）	工事にかかる地下埋設物等の事前調査については、[未調査・調査済み]である。 _____の施工に当って、_____が支障となっているが、までに移設が完了する見込みである。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。
対公害	①（騒音振動対策）	「建設工事にともなう騒音振動対策技術指針」を順守すること。 本工事の施工に当っては、排出ガス対策型建設機械を使用すること。
安全対策	①（交通安全施設等）	一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意して施工すること。 なお、交通整理の必要日数 <u>12</u> 日を見込んでいる。配置人員として、交通誘導員Aを合計 <u> </u> 名（交代要員[有・無]）、交通誘導員Bを合計 <u>12</u> 名（交代要員[有・無]）を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置しているとみなす。
排水処理濁水	①（濁水処理）	工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。 なお、これにより難しい場合は別途協議すること。

現場説明書

特記事項2

建設副産物の処理	【建設発生土（処理）】 ①（他工事等流用） ②（建設技術センター） ③（民間残土受入地）	建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____工事現場に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。 建設発生土は_____市・町・村_____地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として、1 m³当たり円をセンターに支払うこと。 建設発生土は、<u>米子</u>市・町・村 <u>尾高</u>地内の<u>尾高残土処分場</u>に 運搬（片道運搬距離 <u>15.0</u> km）するものとする。なお、処理費として、1 m³当たり <u>1,330</u> 円を <u>事業者</u> に支払うこと。
	【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】 ④（分別解体等） ⑤（他工事等流用） ⑥（再資源化施設への搬出） (施設の名称・受入れ費用) (受入れ時間帯) (受入れ条件) ⑦（木材市場等へ売却） ⑧（最終処理等） ⑨（産業廃棄物の処理に係る税）	コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。 なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート塊 <u>13,560</u> 円（鉄筋）<u>6,855</u> 円（無筋）舗装版 <u>146</u> 円 アスファルト塊 1 m² 当たり _____ 円 建設発生木材 1 m³ 当たり _____ 円 [Co 雑割材・ _____] は、_____市・町・村 _____ 地内 _____ 工事現場に運搬（片道運搬距離 _____ km）するものとする。 コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。 再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。 なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。 コンクリート塊 <u>米子</u>市・町・村 <u>夜見町</u> 地内の (有)大成商事 (運搬距離 <u>4.0</u> km)、費用 1 t 当たり <u>1,000</u> 円 アスファルト塊 _____市・町・村 _____ 地内の _____ (運搬距離 _____ km)、費用 1 t 当たり _____ 円 建設発生木材 _____市・町・村 _____ 地内の _____ (運搬距離 _____ km)、費用 1 t 当たり _____ 円 その他（ゴムくず） <u>米子</u>市・町・村 <u>大篠津町</u> 地内の (有)サクセス (運搬距離 <u>10.0</u> km)、費用 1 m³ 当たり <u>13,000</u> 円 8時～17時（平日） ア 路盤材、土砂、金属片等が、混入していないこと。 イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。 ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径 _____ cm 以下、長さ _____ m 以下であること。 エ 2次公害発生の恐れがある物質（廃油等）を含まないこと。 建設発生木材は _____市・町・村 _____ 地内の _____ への搬出（片道運搬距離 _____ km）を想定し、 _____ 円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合は理由を付して協議すること。 _____ については、 _____市・町・村 _____ 地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離 _____ km）を想定し、その費用として 1 t 当たり _____ 円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。 産業廃棄物処理業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。 産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を _____ 円見込んでいる。

現場説明書

特記事項3

建設副産物の使用	① (建設発生土の使用) — ② (再生資材の使用)	_____ 工事から [当該工事運搬・相手方運搬] の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____ に使用する。 1) C 〇 雑割材は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。 2) アスファルト・コンクリート切削殻は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。 3) ・再生クラッシャーラン [規格：Rc-40] は、使用箇所：_____ 路盤材 _____ に使用する。 ・再生コンクリート砂 [規格：R S —] は、使用箇所：_____ に使用する。 4) 再生加熱アスファルト混合物 [規格：_____] は、使用箇所：_____ に使用する。 5) その他再生資材 [資材名：_____] [規格：_____] は、使用箇所：_____ に使用する。												
工事用道路														
仮設備														
その他	① (労災補償に必要な保険の付保) ② (現場環境改善)	本工事において、請負者は労災補償に必要な任意の保険契約を締結すること。なお、この労災補償に必要な保険契約の保険料を予定価格に反映している。 本工事は、現場環境改善 (率計上分) 実施対象工事と [する・しない]。 下表の内容のうち原則として各費目 (仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携) ごとに1実施内容ずつ (いずれか1項目のみ2実施内容) の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。 実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。 地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容 (目的に資するものであること) について監督員の確認を受けること。 1 内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。 <table border="1" data-bbox="603 1406 1442 2123"> <thead> <tr> <th>計上費目</th><th>実施内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設備関係</td><td>1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減</td></tr> <tr> <td>営繕関係</td><td>1. 現場事務所の快適化 (女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス (交通誘警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等</td></tr> <tr> <td>安全関係</td><td>1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ (電光式標識等) 2. 盗難防止対策 (警報機等) 3. 避暑 (熱中症予防)・防寒対策</td></tr> <tr> <td>地域連携</td><td>1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板 (各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催 (イベント等の実施含む) 6. 見学所 (インフォメーションセンター) の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等 (地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献</td></tr> <tr> <td>防災・危機管理関係 (港湾・漁港事業)</td><td>1. 防災訓練 (地震・台風等の自然災害に対する訓練)</td></tr> </tbody> </table>	計上費目	実施内容	仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減	営繕関係	1. 現場事務所の快適化 (女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス (交通誘警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等	安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ (電光式標識等) 2. 盗難防止対策 (警報機等) 3. 避暑 (熱中症予防)・防寒対策	地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板 (各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催 (イベント等の実施含む) 6. 見学所 (インフォメーションセンター) の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等 (地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献	防災・危機管理関係 (港湾・漁港事業)	1. 防災訓練 (地震・台風等の自然災害に対する訓練)
計上費目	実施内容													
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減													
営繕関係	1. 現場事務所の快適化 (女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス (交通誘警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等													
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ (電光式標識等) 2. 盗難防止対策 (警報機等) 3. 避暑 (熱中症予防)・防寒対策													
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板 (各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催 (イベント等の実施含む) 6. 見学所 (インフォメーションセンター) の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等 (地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献													
防災・危機管理関係 (港湾・漁港事業)	1. 防災訓練 (地震・台風等の自然災害に対する訓練)													

※明示する項目を_____ 部分に記入又は追記し、不要部分は——で削除して使用すること。

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ その他()			
工事の種類		☐ 新築工事 ☒ 維持・修繕工事 ☐ 解体工事 ☐ 電気 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 下水道 ☐ 鉄道 ☐ 電話 ☒ その他(漁港保全工事)			
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		☒ コンクリート ☒ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☐ アスファルト・コンクリート ☐ 木材			
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数 ____ 年 その他()			
	周辺状況	周辺にある施設 ☐ 住宅 ☐ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☐ その他() 敷地境界との最短距離 約 ____ 1.0 ____ m その他()			
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容			工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容	
	作業場所		作業場所 ☒ 十分 ☐ 不十分 その他()		
	搬出経路		障害物 ☐ 有() ☒ 無 前面道路の幅員 約 ____ 8.0 ____ m 通学路 ☐ 有 ☒ 無 その他()		
	特定建設資材への付着物(解体・維持・修繕工事のみ)		☐ 有() ☒ 無		
	他法令関係(解体・維持・修繕工事のみ)	石綿(大気汚染防止法・安全衛生法石綿則)	☐ 有 特定建設資材への付着(☐ 有 ☐ 無) ☒ 無		
	その他				
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程		作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)	
	①仮設		仮設工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	②土工		土工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	③基礎		基礎工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	④本体構造		本体構造の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	⑤本体付属品		本体付属品の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	⑥その他 (コンクリート取壊し工)		その他の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		☐ 上の工程における⑤→④→③の順序 ☐ その他() その他の場合の理由()			
工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)		トン			
廃棄物発生見込み量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)		種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)
			☒ コンクリート塊	156 トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥
			☐ アスファルト・コンクリート塊	トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
			☐ 建設発生木材	トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他					
備考					

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	54 米子市 実施設計書 当初 04-*****-0001 -40 0 1 実施単価 30 米子市 0-04.06.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 緊急工事 契約保証区分 豪雪割増 工事価格端数処理 係数ランク 工期算定区分 ICT施工有無 冬期補正係数 週休二日補正係数	19 港湾構造物工事 01 率計上する（地方部） 23 地方港湾・一般交通影響有 00 通常工事 0％ 01 金銭保証（0．04％） 01 豪雪割増あり 01 万円止め（漁港） 01 係数ランク1 01 算出する 00 ICT施工を使用しない 00 0級地 0．0％ 01 週休二日補正なし				

本工事費 内訳書

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						X1000
護岸・岸壁・物揚場 4-5物揚場			一式			Y1J04 (レベル1)
本体工(鋼矢板式)			一式			Y1J0407 (レベル2)
鋼矢板工			一式			Y1J040701 (レベル3)
鋼矢板			枚(本)			Y1J04070102 (レベル4)
鋼矢板材料費						V0001 0
漁港工事基準書3-4.5-7	64		枚			単第0-0001 表 040610
バイプロハンマ施工による打込み(鋼矢板) 陸上施工 鋼矢板 25H型 (ハット形) 打込長 7.4m						S0490 0 A=1, B=2, C=1, D=10, E=7.4
県基準書Ⅱ-5-②-1	64		枚			単第0-0002 表 040610
切梁・腹起し設置工 火打ブロックを使用しない						S0870 0 A=2
県基準書Ⅱ-5-⑥-1	1		t			単第0-0004 表 040610
水中コンクリート打設(ポンプ車直接打設) 生コンクリート(各種)						S5043005 0 A=1, B=5, C=11, D=1
漁港工事基準書3-4.3-13	45		m3			単第0-0006 表 040610

本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
上部工						Y1J0412 (レベル2)
			一式			
上部コンクリート工						Y1J041201 (レベル3)
			一式			
鉄筋						Y1J04120103 (レベル4)
			kg			
鉄筋加工組立 SD345 13mm						S5298 0 A=7, B=5
漁港工事基準書3-6-21	398		kg			単第0-0009 表 040610
鉄筋加工組立 SD345 16～25mm						S5298 0 A=7, B=6
漁港工事基準書3-6-21	727		kg			単第0-0011 表 040610
鋼製型枠組立組外（重力式, 鋼矢板式） 陸上施工 クローラクレーン（油）：35t吊						V0004 0
漁港工事基準書3-6-19	132		m2			単第0-0012 表 040610
伸縮目地 瀝青質系 （t=10mm）						S5316 0 A=1
漁港工事基準書3-6-24	3		m2			単第0-0013 表 040610
コンクリート打設（陸上） 生コンクリート（各種） ポンプ車						S5060003 0 A=1, B=1, C=19, D=1, E=8, F=1, G=1
漁港工事基準書3-6-26	32		m3			単第0-0014 表 040610
支保組立組外（鋼矢板式）						S5304 0 A=4
漁港工事基準書3-6-15	57		m			単第0-0015 表 040610

本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
付属工							Y1J0413 (レベル2)
				一式			
係船柱工							Y1J041301 (レベル3)
				一式			
係船柱							Y1J04130101 (レベル4)
				基			
係船柱取付 100KN未満 陸上施工 ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジャブ型16t 漁港工事基準書3-7-7		11		基			V0005 0
							単第0-0016 表 040610
係船柱基礎コンクリート							V0006 0
		11		基			単第0-0018 表 040610
防舷材工							Y1J041302 (レベル3)
				一式			
防舷材							Y1J04130201 (レベル4)
				基			
防舷材設置 L=1.0m 陸上施工 漁港工事基準書3-7-10		12		基			V0007 0
							単第0-0022 表 040610
防舷材設置 L=2.0m 陸上施工 漁港工事基準書3-7-10		11		基			V0008 0
							単第0-0025 表 040610

本工事費 内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
梯子設置 L=1.5m 陸上施工 漁港工事基準書3-7-10	1	基			V0009 0 単第0-0027 表 040610
車止・縁金物工		一式			Y1J041303 (レベル3)
車止		m			Y1J04130301 (レベル4)
車止取付 漁港工事基準書3-7-12	34	m			V0010 0 単第0-0030 表 040610
縁金物		m			Y1J04130302 (レベル4)
縁金物取付 漁港工事基準書3-7-13	57	m			V0011 0 単第0-0032 表 040610
防食工		一式			Y1J041304 (レベル3)
電気防食		個			Y1J04130401 (レベル4)
取付金具製作 漁港工事基準書3-7-16	9	組			S5070001 0 単第0-0034 表 040610

本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
取付金具取付						S5070003 0
漁港工事基準書3-7-16	9		組			単第0-0035 表 040610
陽極取付工 耐用50年型 発生電流1.5A						V0012 0
漁港工事基準書3-7-16	16		個			単第0-0036 表 040610
陽極取付工 耐用50年型 発生電流2.0A						V0013 0
漁港工事基準書3-7-16	2		個			単第0-0038 表 040610
電位測定装置取付						V0014 0
漁港工事基準書3-7-16	2		個			単第0-0039 表 040610
付属設備工						Y1J041305 (レベル3)
			一式			
係船環						Y1J04130501 (レベル4)
			個			
係船環 SUS材 φ25 環径200mm						W0001
見積	10		個			
土工						Y1J0417 (レベル2)
			一式			
掘削工						Y1J041701 (レベル3)
			一式			

本工事費 内訳書

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土砂掘削					Y1J04170101 (レベル4)
		m3			
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	180	m3			SPK21040001 0 A=1, B=5, F=7 単第0-0041 表 040610
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m未満	160	m3			SPK21040004 0 A=1 単第0-0042 表 040610
山土 C B R ≥ 1 2	160	m 3			TTM0052 0 040610
残土処理工					Y3999 (レベル3)
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離17.0km以下(12.0km超)	180	m3			SPK21040002 0 A=2, B=5, C=1, D=2, F=53 単第0-0043 表 040610
投棄料					#0041 C=投棄料
		一式			
処分費	180	m 3			TTV0440 0 040610
舗装工					Y1J0418 (レベル2)
		一式			

本工事費 内訳書

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート舗装工						Y1J041802 (レベル3)
			一式			
下層路盤						Y1J04180201 (レベル4)
			m2			
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚 1 5 0 mm 1層施工 RC-40						SPK21040225 0 A=150, B=4, D=1
	190		m2			単第0-0044 表 040610
コンクリート舗装						Y1J04180203 (レベル4)
			m2			
人力舗設 舗装厚= 2 0 cm 18N/mm2-8cm-40mm 漁港工事基準書3-13-14						S5476 0 A=1, B=6, C=20, D=1, F=1, G=1, H=7
	207		m2			単第0-0045 表 040610
鋼製型枠設置撤去 冬季以外						S5454 0 A=2, B=2, C=80
	41		m			単第0-0046 表 040610
漁港工事基準書3-13-10						
施工目地 舗装厚= 2 0 cm						S5466 0 A=20
	127		m			単第0-0048 表 040610
漁港工事基準書3-13-9						
施工目地 舗装厚= 3 6 cm						S5466 0 A=36
	59		m			単第0-0049 表 040610
漁港工事基準書3-13-9						
構造物撤去工						Y1J0420 (レベル2)
			一式			

本工事費 内訳書

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
取壊し工					Y1J042001 (レベル3)
		一式			
コンクリート取壊し					Y1J04200101 (レベル4)
		m3			
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工					SDT00033 0 A=1, B=1, C=1, D=1
	32	m3			単第0-0050 表 040610
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工					SDT00031 0 A=1, B=1, C=1, D=1
	3	m3			単第0-0051 表 040610
舗装版破碎 コンクリート舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下					SPK21040301 0 A=2, B=1, C=1, D=1, F=1, G=1
	184	m2			単第0-0052 表 040610
撤去工					Y1J042002 (レベル3)
		一式			
付属物撤去					Y4999 (レベル4)
係船柱撤去					V0016 0
	5	基			単第0-0053 表 040610
漁港工事基準書3-17-17 防舷材撤去					V0015 0
	14	基			単第0-0055 表 040610
漁港工事基準書3-17-18					

本工事費 内訳書

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
受杭打設（陸上） 木杭（末口15cm） 木杭材料別途 漁港工事基準書3-4.5-（13）	65		本			S5237 0 A=3, B=1 単第0-0056 表 040610
ガス切断工（陸上） 手動切断 板厚 6 mm 漁港工事基準書3-19-11	13		m			S5546 0 A=6, B=1, C=1, D=1 単第0-0058 表 040610
運搬処理工						Y4999 (レベル4)
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	32		m3			SPK21040138 0 A=2, B=1, C=1, D=25, E=1 単第0-0059 表 040610
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	3		m3			SPK21040138 0 A=1, B=1, C=1, D=25, E=1 単第0-0060 表 040610
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離6.5km以下(3.5km超)	28		m3			SPK21040138 0 A=3, B=3, C=1, D=29, E=1 単第0-0061 表 040610
現場発生品・支給品運搬 クレーン装置付2t級2t吊 片道運搬距離14.0km以下(9.0km超) 鋼矢板	1		回			SPK21040409 0 A=1, B=4, C=6 単第0-0062 表 040610
現場発生品・支給品運搬 クレーン装置付2t級2t吊 片道運搬距離14.0km以下(9.0km超) 係船柱	1		回			SPK21040409 0 A=1, B=4, C=4 単第0-0063 表 040610
現場発生品・支給品運搬 クレーン装置付2t級2t吊 片道運搬距離14.0km以下(9.0km超) 防舷材	1		回			SPK21040409 0 A=1, B=4, C=4 単第0-0063 表 040610

本工事費 内訳書

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
投棄料					#0041 C=投棄料
		一式			
処分費 有筋 無筋					W0001
大成商事	156	t			
処分費 ゴムくず					W0001
サクセス	1	m 3			
スクラップ 鉄くず ヘビー H 1					TTU0052 0
	1	t			040610 8
仮設工					Y1J0421 (レベル2)
		一式			
仮設鋼矢板工					Y1J042101 (レベル3)
		一式			
仮設鋼矢板・H形鋼杭					Y1J04210101 (レベル4)
		枚(本)			
パイプロハンマ施工による打込み(鋼矢板) 陸上施工 鋼矢板 3型 打込長 3. 9m 漁港工事基準書3-18-9	152	枚			S0490 0 A=1, B=2, C=1, D=3, E=3. 9 単第0-0064 表 040610
鋼矢板引抜き 陸上施工 3型 引抜長(m)_6以下 漁港工事基準書3-18-9	152	枚			S0454 0 A=1, B=2, C=1 単第0-0066 表 040610

本工事費 内訳書

頁0-0012

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼矢板3型賃料 1回使用 供用日数4 5日 漁港工事基準書3-18-5	37	t				S0850 0 A=2, B=45, C=1, D=1 単第0-0069 表 040610
交通管理工						Y3999 (レベル3)
交通誘導警備員						Y4999 (レベル4)
交通誘導警備員 B	12	人				R0369 0 040610 1
＊＊直接工事費＊＊						
運搬費						Z0004
重建設機械分解組立輸送 クローラクレーン系 35t吊超え 80t吊以下 4-5物揚場	2	回				S8115 0 A=7, C=1 単第0-0070 表 040610
仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬 運搬距離 10 km 製品長 12m以内 4-5物揚場	1	一式				S1000007 0 A=10, B=1, C=1, D=1, E=37, F=1, H=1, J=1, L=1 単第0-0071 表 040610
安全費						Z0009

本工事費 内訳書

頁0-0013

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
安全監視船運転									S9740	0
FRP D 180PS型 10.0t 132kW									A=1, B=1	
就業8時間										
4-5物揚場	8		日						単第0-0074 表	040610
現場環境改善費									Z0012	
共通仮設費										
** 共通仮設費計 **										
** 純工事費 **										
現場管理費										
** 工事原価 **										
一般管理費率										
分										
契約保証費										

本工事費 内訳書

頁0-0014

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
一般管理費計											
工事価格											
消費税相当額											
工事費計											

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
溶接用熱間圧延鋼矢板 SYW295 ハット型25H	1.13	t			W0001 建設物価P4
重防食鋼矢板 ハット型25H	1.54	m ²			W0001 建設物価P4
*** 単位当たり ***	1	枚			

10 枚 当り

県基準書Ⅱ-5-②-1

米子市

施 工 単 価 表

頁0-0017

バイブロハンマ杭打機運転
油圧振り子式235kW ハット型鋼矢板用

S9119
クローラクレーン 油圧式50～55t吊 排対1次

単第0-0003 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	523.00	L			TTPC00013
バイブロハンマ(単体) 油圧式・可変超高周波・排2 振子, ハット形鋼矢板900mm用473kN20～60Hz	1.30	供用日			M1050055
クローラクレーン 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排1 50～55t吊	1.30	供用日			M1040007
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=10 油圧振り子式235kW ハット型鋼矢板用 C=1 運転労務数量 (人/日) E=1.3 機械損料数量 (供用日/日) G=2 クレーン排出ガス対策型1次基準			B=3 クローラクレーン 油圧式 50～55t吊 D=523 軽油消費量 (L/日) F=4 バイブロハンマ排出ガス対策型2次基準		

切梁・腹起し設置工
火打ブロックを使用しない

S0870

施 工 単 価 表

単第0-0004 表

頁0-0018

県基準書Ⅱ-5-⑥-1

10 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
切梁・腹起し設置	10.000	t			S0871 単第0-0005 表
諸雑費	1	一式			#91
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=2 設置			B=1 火打ブロックを使用しない		

切梁・腹起し設置

S0871

施 工 単 価 表

単第0-0005 表

頁0-0019

10 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.700	人			RTPC00009
とび工	3.200	人			RTPC00004
溶接工	1.700	人			RTPC00019
普通作業員	1.700	人			RTPC00002
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ] 賃料 25 t 吊	1.700	日			KTPC00014
諸雑費	4	%			長期割引適用外 #09
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=1 設置			B=1	火打ブロックを使用しない	

水中コンクリート打設(ポンプ車直接打設)
生コンクリート(各種)

S5043005

施 工 単 価 表

単第0-0006 表

頁0-0020

漁港工事基準書3-4.3-13

10

m3

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水中コンクリート 18-8-20	10.6	m 3			F0000000011 割増しを含む
コンクリートポンプ車運転 ブーム式 90～110m3/h 就業8時間	0.2	日			S5980007 単第0-0007 表 6
潜水土船運転 D180ps型 3～5t 132kW 就業8時間	0.1	日			S9738 単第0-0008 表 6
土木一般世話役	0.3	人			RTPC00009 6
特殊作業員	0.4	人			RTPC00001 6
普通作業員	0.9	人			RTPC00002 6
雑材料	0.5	%			#06
*** 合計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 50m3未満 C=11 【F】生コンクリート(m3)			B=5 D=1	生コンクリート(各種) 小型車割増なし	

施 工 単 価 表

単第0-0007 表

1 日 当り

S5980007

就業8時間

コンクリートポンプ車運転
ブーム式 90～110m³/h

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	110	L			TTPC00013
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m ³ /h	6.90	時間			MTPC00050 運転1時間当り損料
損料 (供用)	1.14	日			供用1日当り損料
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 ブーム式 90～110m ³ /h					

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 1. 2号（船舶用）	8.6	1 0 L			T0203 86/10
潜水世話役	0.24	人			R0420 0.2*1.2
潜水士	1.20	人			RTPC00014 1*1.2
潜水連絡員	1.20	人			RTPC00015 1*1.2
潜水送気員	1.20	人			RTPC00016 1*1.2
潜水士船 D180PS型3～5t吊4.9GT	1	日			M1310001 運転日当り損料
損料（供用）	1.65	日			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 運転1日（就業8時間）			B=1 単独潜水方式		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
異形棒鋼 SD345 D13	1,030	kg			T0181
鉄筋加工組立 上部工製作 重力式 クレーン抜き	1,000	kg			TL095 土木施工単価P244
クローラクレーン(油圧駆動式) 油圧駆動式 35t吊112kW	0.1	日			S9803 単第0-0010 表
*** 合計 ***	1,000	kg			
*** 単位当たり ***	1	kg			
A=7 クローラクレーン (油) :35t吊 C=0 鉄筋単価 (円/kg)			B=5 SD345	13mm	

クローラクレーン(油圧駆動式)

S9803

施 工 単 価 表

單第0-0010 表

1 目 当り

[illegible]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
異形棒鋼 SD345 D16	1,030	kg			T0182
鉄筋加工組立 上部工製作 重力式 クレーン抜き	1,000	kg			TL095 土木施工単価P244
クローラクレーン(油圧駆動式) 油圧駆動式 35t吊112kW	0.1	日			S9803 単第0-0010 表
*** 合計 ***	1,000	kg			
*** 単位当たり ***	1	kg			
A=7 クローラクレーン (油) :35t吊 C=0 鉄筋単価 (円/kg)			B=6 SD345	16～25mm	

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼製型枠組立組外 上部工製作 重力式 クレーン抜き 鋼製型枠	100	m ²			TL125 土木施工単価P252
＜賃＞クローラクレーン(油圧駆動式ウィンチ) (ラチスジブ型) 35t吊, オペレータ付 排出ガス1, 2次(分解, 組立が必要)	2	日			KR004005 県単価P136
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

伸縮目地
瀝青質系 (t=10mm)

S5316

施 工 単 価 表

単第0-0013 表

頁0-0027

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
伸縮目地工 [材工] 瀝青系	100.00	m ²			TL228 土木施工単価P272
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 瀝青質系 (t=10mm)					

施 工 単 価 表

コンクリート打設(陸上)

S5060003

単第0-0014 表

生コンクリート(各種)

ポンプ車

漁港工事基準書3-6-26

10

m3

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
生コンクリート 24-8-40	10.2		m 3			F0000000001 割増しを含む
C o 打設工 上部工 [手間] 陸上 C o 運搬含 ポンプ車	10		m 3			TL140 土木施工単価P256
*** 合計 ***	10		m3			
*** 単位当たり ***	1		m3			
A=1 ポンプ車 C=19 ポンプ車・ミキサー車使用 E=8 生コンクリート(各種) G=1 小型車割増なし				B=1 鉄筋 D=1 1日ポンプ車1台50m3未満 F=1 【F】生コンクリート(m3)		
市場単価 = 標準市場単価 * (1 + 施工規模補正係数) = 3,800 * (1 + 0.100) = 4,180						

支保組立組外（鋼矢板式）

S5304

施 工 単 価 表

単第0-0015 表

頁0-0029

漁港工事基準書3-6-15

100

m

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
支保工 上部工〔材工〕 鋼矢板式 クレーン抜き	100.00	m			TL219 土木施工単価P236
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ〕賃料 3 5 t 吊	2.1	日			KTPC00015 長期割引適用外
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=4 ラフテレーンクレーン（油）：35t吊					

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
係船柱取付 100kN未満 陸上 ラフテレーンクレーン（油）16t吊	5	基			S5340 単第0-0017 表
*** 合計 ***	5	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
係船柱 直柱（アンカーボルト含む） けん引耐力30KN	5.0	組			F0000000002 建設物価P353
係船柱取付工 係船柱取付〔手間〕 陸上 けん引力100kN未満 クレーン抜	5.0	基			TL147 市場単価
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ〕賃料 16t吊	0.4	日			KTPC00023 長期割引適用外
小計(1日当り)		日			+00
1基当り		基			+00
*** 単位当たり ***	1	基			
A=1 100kN未満 C=2 【F】係船柱(基)			B=2 陸上 ラフテレーンクレーン（油）16t吊		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート打設(陸上) 18-8-40BB ミキサー車	0.876	m3			S5060003 単第0-0019 表 漁港工事基準書3-6-26
型枠 一般型枠 小型構造物	2.448	m2			SPK21040142 単第0-0020 表
基礎碎石 碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 RC-40	1.12	m2			SPK21040033 単第0-0021 表
伸縮目地 瀝青質系 (t=10mm)	0.96	m2			S5316 単第0-0013 表
*** 単位当たり ***	1	基			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	10.2	m3			TTPCD0010
C o 打設工 上部工 [手間] 陸上 C o 運搬別途 ミキサー車から直接投入	10	m 3			割増しを含む TL143 土木施工単価P256
*** 合計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=3 ミキサー車 C=19 ポンプ車・ミキサー車使用 E=1 18-8-40BB			B=1 鉄筋 D=4 ポンプ車以外の打設 G=1 小型車割増なし		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	45.16%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ〔クローラ型〕賃料 山積0.8m3	5.70%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	34.32%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.88%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	13.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.14%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン RC-40	18.40%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	4.71%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=3 砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 D=1 -(全ての費用)			B=1 RC-40		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防舷材（本体のみ）取付 陸上・ラフテレーンクレーン（油）16t吊 H=250mm未満	14	基			S5346 単第0-0023 表
埋込栓取付 陸上施工 H=250mm未満	14	基			S5344 単第0-0024 表
*** 合計 ***	14	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

施 工 単 価 表

頁0-0038

防舷材（本体のみ）取付
陸上・ラフテレーンクレーン（油）16t吊 H=250mm未満 S5346

単第0-0023 表

1 基 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防舷材 漁港型 高130mm	14	m			F0000000003 建設物価P352
防舷材取付【手間のみ】 H=250mm未満 陸上施工, クレーン抜き	14	基			TL191 土木施工単価P284 1
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ] 賃料 1 6 t 吊	1	日			KTPC00023 長期割引適用外
小計 (1日当り)		日			+00
1基当り		基			+00
*** 単位当たり ***	1	基			
A=3 陸上・ラフテレーンクレーン（油）16t吊 C=3 【F】防舷材(基) E=1 5基以上			B=1 H=250mm未満 D=2 台船・引船計上しない		

施 工 単 価 表

単第0-0024 表

1 基 当り

S5344

H=250mm未満

埋込栓取付
陸上施工

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋込金具 4本	14	セット			F0000000004 建設物価P352
埋込栓取付 H=250mm未満 陸上施工	14	基			TL182 市場単価
小計（1日当り）		日			+00
1基当り		基			+00
*** 単位当たり ***	1	基			
A=1 陸上施工 C=4 【F】埋込栓(基) E=1 5基以上			B=1 H=250mm未満 D=1 先付け		
市場単価 = 標準市場単価 * (1 + 施工規模補正係数) = 9,300 * (1 + 0.00) = 9,300					

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防舷材（本体のみ）取付 陸上・ラフテレーンクレーン（油）16t吊 H=250mm未満	28	基			S5346 単第0-0026 表
埋込栓取付 陸上施工 H=250mm未満	14	基			S5344 単第0-0024 表
*** 合計 ***	14	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

施 工 単 価 表

単第0-0026 表

1 基 当り

防舷材（本体のみ）取付

S5346

陸上・ラフテレーンクレーン（油）16t吊

H=250mm未満

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
係船柱 直柱（アンカーボルト含む） けん引耐力30KN	14	組			F0000000002 建設物価P353
防舷材取付【手間のみ】 H=250mm未満 陸上施工, クレーン抜き	14	基			TL191 土木施工単価P284 1
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ〕賃料 1 6 t 吊	1	日			KTPC00023 長期割引適用外
小計（1日当り）		日			+00
1基当り		基			+00
*** 単位当たり ***	1	基			
A=3 陸上・ラフテレーンクレーン（油）16t吊 C=2 【F】防舷材（基） E=1 5基以上			B=1 H=250mm未満 D=2 台船・引船計上しない		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
梯子取付 ラフテレーンクレーン（油）16t吊	1	基			S5070005 単第0-0028 表
埋込栓取付 陸上施工 H=250mm未満	1	基			S5344 単第0-0029 表
*** 単位当たり ***	1	基			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
梯子	14	基			
梯子取付【手間のみ】 H=250mm未満 陸上施工, クレーン抜き	14	基			TL202 土木施工単価P284
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ〕賃料 1 6 t 吊	1	日			KTPC00023 長期割引適用外
小計（1日当り）		日			+00
1基当り		基			+00
*** 単位当たり ***	1	基			
A=1 ラフテレーンクレーン（油）16t吊			B=316400 梯子単価（円/基）		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
材料費	14	基			F0000000100
埋込栓取付 H=250mm未満 陸上施工	14	基			TL182 市場単価
小計（1日当り）		日			+00
1基当り		基			+00
*** 単位当たり ***	1	基			
A=1 陸上施工 C=100 【F】埋込栓(基) E=1 5基以上			B=1 H=250mm未満 D=1 先付け		
市場単価 = 標準市場単価 * (1 + 施工規模補正係数) = 9,300 * (1 + 0.00) = 9,300					

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
車止め 150×150	100	m			W0001
車止取付 1本当り質量100kg未満 30m以上	100	m			建設物価P353 S5352 単第0-0031 表
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
材料費	100	基			F0000000100
車止取付工 [手間] 二次製品 クレーン抜き	100	m			TL208 土木施工単価P288
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 1本当り質量100kg未満 C=100 【F】車止 (m) E=1 -			B=1 標準クレーン無し D=1 30m以上		
設計単価 = 2,350*(1+0.0)*(1+0.0) = 2,350(円) 小数点第1位切り捨て整数止め					

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
岸壁コーナー保護材 100×100×2000	100	m			W0001
縁金物取付	100	m			建設物価P353 S5358 単第0-0033 表
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 単 価 表

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
縁金物取付 二次製品	100	m			TL211 土木施工単価P288 1
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 その他製品 D=1 30m以上			B=2 材料別途		
市場単価 = 標準市場単価 * (1 + 施工規模補正係数) = 1,350 * (1 + 0.000) = 1,350					

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電気防食工 取付金具製作 [材工]	30	組			TL212 土木施工単価P296
*** 合計 ***	30	組			
*** 単位当たり ***	1	組			

名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
電気防食工 取付金具取付 [手間] クレーン抜き	30		組			TL213 土木施工単価P296
*** 合計 ***	30		組			
*** 単位当たり ***	1		組			

陽極取付工

V0012

施 工 单 价 表

單第0-0036 表

1 個 当り

耐用50年型 発生電流1.5A

漁港工事基準書3-7-16

[illegible]

施 工 単 価 表

S5366

単第0-0037 表

1 個 当り

陽極取付
既設構造物等を基地として作業可能

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
材料費	18.0	基			F0000000100 6
電気防食工 陽極取付 [手間] アルミ合金陽極 クレーン込み	18.0	個			TL214 市場単価 6
小計 (1日当り)		日			+00
1個当り		個			+00
*** 単位当たり ***	1	個			
A=1 既設構造物等を基地として作業可能			B=100	【F】アルミニウム合金陽極(個)	

陽極取付工

V0013

施 工 單 價 表

單第0-0038 表

1 個 当り

耐用50年型 発生電流2.0A

漁港工事基準書3-7-16

[illegible]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電気防食用アルミ合金陽極 簡易型 SUS304	1	個			W0001
電位測定装置取付	1	個			建設物価P353 S5368 単第0-0040 表
*** 単位当たり ***	1	個			

施 工 単 価 表

1 個 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
材料費	2	基			F0000000100 1
電位測定装置取付（端子板）	2	個			TL216 市場単価 1
小計（1日当り）		日			+00
1個当り		個			+00
*** 単位当たり ***	1	個			
A=100 【F】 端子箱(個)					

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	30.15%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
特殊運転手	58.62%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	11.23%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 F=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
振動ローラ [ハンドガイド式] 賃料 質量0.8～1.1t	0.78%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8～1.1t		KTPC00008 KTPT00008
普通作業員	90.40%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.61%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.21%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m未満					

施 工 単 価 表

単第0-0043 表

1

m3

当り

SPK21040002

DID区間有り 距離17.0km以下(12.0km超)

土砂等運搬

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比： 25.95% 労務構成比： 61.91%

材料構成比： 12.14%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	25.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
一般運転手	61.91%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	12.14%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=53 距離17.0km以下(12.0km超)			B=5 バックハウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		

施 工 単 価 表

頁0-0059

単第0-0044 表

1

m2 当り

SPK21040225

RC-40

下層路盤(車道・路肩部)

全仕上り厚150mm 1層施工

機械構成比： 5.23% 労務構成比： 15.52%

材料構成比： 79.25% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	2.12%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	1.64%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
タイヤローラ 8～20t	0.53%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊運転手	7.14%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	2.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	0.68%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
再生クラッシャーラン RC-40	77.85%		クラッシャーラン 40～0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00008 TTPT00346
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	1.15%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=150 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=4 RC-40		

人力舗設		S5476	施工単価表			単第0-0045 表	頁0-0061
舗装厚=20cm		18N/mm ² -8cm-40mm	漁港工事基準書3-13-14			75	m ² 当り
名称・規格など		数量	単位	単価	金額	備考	
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下		15.6	m ³			TTPCD0010 15*1.04 割増し含む	
鉄筋金網 D10×150×150		78.8	kg			F0000000006 75*1.05 割増し含む	
アスファルト乳剤 PK-3		76.5	L			F0000000007 75*1.02 割増しを含む	
土木一般世話役		1.0	人			RTPC00009	6
特殊作業員		3.0	人			RTPC00001	6
普通作業員		8.0	人			RTPC00002	6
雑材料		16	%			#06	
*** 合計 ***		75	m ²				
*** 単位当たり ***		1	m ²				
A=1 C=20 F=1 H=7				B=6 D=1 G=1	【F】鉄網(m ²) 18N/mm ² -8cm-40mm -		
【F】アスファルト乳剤(L)							

鋼製型枠設置撤去
冬季以外

S5454

施 工 単 価 表

単第0-0046 表

頁0-0062

漁港工事基準書3-13-10

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装用スチールフォーム損料（軌条付き）	100.0	m			E0001 6
クレーン付トラック運転 4t積 2t吊132kW 就業8時間	0.5	日			S9808 単第0-0047 表 6
普通作業員	4.5	人			RTPC00002 6
雑材料	2.0	%			#06 ピンポール含む
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 20～25cm未満 C=80 舗装用スチールフォーム損料（円/10m）			B=2 冬季以外		
損料 = 舗装用スチールフォーム損料 / 10 * 供用日数 (d) = 80 / 10 * 6.0 = 48 (円) 供用日数(d) = (d' - K) * M + K = (4.0 - 1.0) * 1.65 + 1.0 = 6.0 d' :1サイクル当り基本日数 = 4.0					
K : 養生日数 = 1.0 M : 供用係数 = 1.65					

施 工 単 価 表

単第0-0047 表

1 日 当り

S9808

就業8時間

クレーン付トラック運転

4t積 2t吊132kW

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	33	L			TTPC00013
特殊運転手	1	人			RTPC00006
トラック クレーン装置付 ベーストラック4t級吊能力2.0t	5.8	時間			MTPC00109 運転1時間当り損料
損料(供用)	1.23	日			供用1日当り損料
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 4t積 2t吊132kW					

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
目地板 瀝青繊維質板 厚10mm	17.6	m ²			TTPC00199
目地充填材（シール材） 加熱注入式ゴムアスファルト系	51.0	kg			T3526 建設物価P2266
普通作業員	3.5	人			RTPC00002
雑材料	10	%			#06
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=20 舗装版厚（cm）					
目地板数量 = (0.200 - 0.04) * 100 * 1.1 = 目地充填材数量 = 0.01 * 0.04 * 100 * 1020 * 1.25 =	17.600 51.000				

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
目地板 瀝青繊維質板 厚10mm	35.2	m 2			TTPC00199
目地充填材（シール材） 加熱注入式ゴムアスファルト系	51.0	k g			T3526 建設物価P2266
普通作業員	3.5	人			RTPC00002
雑材料	10	%			#06
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=36 舗装版厚（cm）					
目地板数量 = (0.360 - 0.04) * 100 * 1.1 = 目地充填材数量 = 0.01 * 0.04 * 100 * 1020 * 1.25 =	35.200 51.000				

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_鉄筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			TDT001573
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 昼間施工 C=1 -			B=1 機械施工 D=1 時間的制約なし		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_無筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			TDT001561
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 昼間施工 C=1 -			B=1 機械施工 D=1 時間的制約なし		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ [クローラ型] 賃料 山積0. 4 5 m 3	9.68%		バックホウ [クローラ型・排ガス対策型(第2次)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00004 KTPT00004
土木一般世話役	28.85%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	28.25%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	25.10%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	8.12%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=1 F=1 コンクリート舗装版 騒音振動対策不要 積込作業有り			B=1 D=1 G=1 障害無し 舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
係船柱撤去	1	日			S5150005 単第0-0054 表
*** 合計 ***	5	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
係船柱撤去【手間のみ】 けん引力100kN未満	5	基			TSL00041 土木施工単価P292
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 100kN未満					

防舷材撤去

V0015

施 工 単 価 表

頁0-0071
単第0-0055 表
8 基 当り
漁港工事基準書3-17-18

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防舷材撤去【手間のみ】 H=250mm未満 クレーン抜き	8	基			TSL00017 土木施工単価P292
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ] 賃料 1 6 t 吊	1	日			K0001 県単価
*** 合計 ***	8	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
クローラクレーン(油圧駆動式) 油圧駆動式 65t吊166kW	1	日			S9803 単第0-0057 表 6
型わく工	2.10	人			RTPC00010 0.06*35 6
とび工	2	人			RTPC00004 6
普通作業員	2	人			RTPC00002 6
雑材料	0.5	%			#06 鋼杭費を除く
小 計 (1日当り)		日			+00
1本当り		本			+00
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 木杭（末口15cm）			B=1 木杭2.5m未満		
受杭1日当り打込本数 = 35（本／日）					

クローラクレーン(油圧駆動式)

S9803

施 工 単 価 表

單第0-0057 表

1 日 当り

[illegible]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガス切断 手動 陸上施工 板厚 2 mm以上 1 0 mm未満	15. 7	m			TL278 土木施工単価P328
小計 (1日当り)		日			+00
1m当り		m			+00
*** 単位当たり ***	1	m			
A=6 板厚(mm) C=1 クレーンなし			B=1 手動切断 D=1 切断長10m以上		
1 日当り切断長 = 60 * 6.000 / 23.000 = 15.700 (m／日)					

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.38%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	41.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.74%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.38%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	41.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.74%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.38%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	37.64%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.98%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下) D=29 運搬距離6.5km以下(3.5km超)		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.0t	12.83%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.0t		MTPC00020 MTPT00020
特殊運転手	41.58%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	40.67%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	4.92%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付2t級2t吊 C=6 1回当り平均積載質量0.8t超1.1t以下			B=4 片道運搬距離14.0km以下(9.0km超)		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.0t	12.81%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.0t		MTPC00020 MTPT00020
特殊運転手	41.51%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	40.77%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	4.91%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付2t級2t吊 C=4 1回当り平均積載質量0.3t超0.5t以下			B=4 片道運搬距離14.0km以下(9.0km超)		

施 工 単 価 表

頁0-0080

バイブロハンマ施工による打込み(鋼矢板)
陸上施工 鋼矢板 3型

S0490

打込長 3.9m

漁港工事基準書3-18-9

単第0-0064 表

10 枚 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.217	人			RTPC00009 1*0.2173 9
とび工	0.435	人			RTPC00004 2*0.2173 9
普通作業員	0.217	人			RTPC00002 1*0.2173 9
バイブロハンマ杭打機運転 油圧振り子式 235kW 排ガス2次基準 クローラクレーン 油圧式50～55t吊 排対1次	0.217	日			S9119 単第0-0065 表 9
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	10	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=1 陸上施工 C=1 継施工なし E=3.9 鋼矢板打込長 (m)			B=2 油圧式バイブロハンマ D=3 鋼矢板 3型		
10 / 日当り施工枚数 = 10 / 46 = 0.2173					

施 工 単 価 表

頁0-0081

バイブロハンマ杭打機運転
油圧振り子式 235kW 排ガス2次基準

S9119
クローラクレーン 油圧式50～55t吊 排対1次

単第0-0065 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	523.00	L			TTPC00013
バイブロハンマ(単体) 油圧式・可変超高周波・排2 振り子, 最大起振473kN周波数20～60Hz	1.30	供用日			M1050061
クローラクレーン 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排1 50～55t吊	1.30	供用日			M1040007
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=9 油圧振り子式 224(235)kW C=1 運転労務数量 (人/日) E=1.3 機械損料数量 (供用日/日) G=2 クレーン排出ガス対策型1次基準			B=3 クローラクレーン 油圧式 50～55t吊 D=523 軽油消費量 (L/日) F=4 バイブロハンマ排出ガス対策型2次基準		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.172	人			RTPC00009 9
特殊作業員	0.172	人			RTPC00001 9
とび工	0.345	人			RTPC00004 9
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力 981～1,471kN 排出ガス対策型1次基準	0.172	日			S9128 単第0-0067 表 10/58 9
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型2次基準	0.172	日			S9000053 単第0-0068 表 10/58 9
諸雑費	0.2	%			#09
*** 合計 ***	10	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=1 陸上施工 C=1 引抜長(m)_6以下			B=2 3型		
土木一般世話役 = 10 / N * 1 = 10 / 58 * 1 = 0.172(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = 10 / N * 1 = 10 / 58 * 1 = 0.172(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め とび工 = 10 / N * 2 = 10 / 58 * 2 = 0.345(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

頁0-0083

機-24_油圧式杭圧入引抜機運転

S9128

単第0-0067 表

圧入力 981～1,471kN

排出ガス対策型1次基準

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	132.00	L			TTPC00013
油圧式杭圧入引抜機 エンジン式ユニット・排1 圧入981～1471引抜1079～1569kN	1.45	供用日15欄			MJ663
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 圧入力 981～1,471kN C=1.45 機械損料数量 (供用日/日)			B=132 軽油消費量 (L/日)		

機-18_ラフテレーンクレーン運転
25t吊

S9000053
排出ガス対策型2次基準

施 工 単 価 表

単第0-0068 表
1 日 当り
頁0-0084

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	107.00	L			TTPC00013
ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・排2 25t吊	1.45	供用日15欄			M1040173
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 25t吊 C=1 運転労務数量(人/日) E=1.45 機械損料数量(供用日/日)			B=3 排出ガス対策型2次基準 D=107 燃料消費量(L/日)		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼矢板賃料	1.000	t			E0001
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	t			
A=2 鋼矢板(3型) C=1 使用回数(回)			B=45 供用日数(賃料期間)(日) D=1 補助工法無し		
供用賃料 = 供用賃料(補正) = 供用賃料 < 供用賃料(補正) より 供用賃料 を採用					
修理費及び損耗費 = (仮設材賃料計) =					
仮設材購入価格 = (仮設材賃料限度額) =					
(仮設材賃料計) < (仮設材賃料限度額) より 仮設材賃料 = 仮設材賃料計					

重建設機械分解組立輸送

S8115

施 工 単 価 表

単第0-0070 表

頁0-0086

クローラクレーン系 35t吊超え 80t吊以下

4-5物揚場

1 回 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	5.500	人			RTPC00001 5.5*1 6
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ] 賃料 2 5 t 吊	1.500	日			KTPC00014 1.5*1 長期割引適用外 6
運搬費等	375	%			#06
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	回			
A=7 クローラクレーン系 35t吊超え 80t吊以下			C=1	分解・組立	

施 工 単 価 表

単第0-0071 表

1 式 当り

仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 S1000007
運搬距離 1 0 km 製品長 12m以内

4-5物揚場

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基本運賃 運搬距離 1 0 km 製品長 12m以内 運搬質量 3 7 t	1. 000	一式			S1000009 単第0-0072 表
往復					+00
積込み, 取卸しに要する費用	1. 000	一式			S1000009 単第0-0073 表
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=10 運搬距離(km) C=1 - E=37 運搬質量(t)			B=1 12m以内 D=1 - F=1 -		
H=1 - L=1 基地積込み・取卸し, 現場積込み・取卸し			J=1 -		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基本運賃	1.000	一式			JU001
t当り基本運賃	37.000	t			E0001
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=1 基本運賃 C=1 12m以内			B=10 運搬距離(km) D=37 運搬質量(t)		

積み込み, 取卸しに要する費用

S1000009

施 工 単 価 表

単第0-0073 表

頁0-0089

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材積み込み費（基地）	37.000	t			KR00E006
仮設材取卸し費（現場）	37.000	t			KR00E009
仮設材積み込み費（現場）	37.000	t			KR00E008
仮設材取卸し費（基地）	37.000	t			KR00E007
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=5 積み込み, 取卸しに要する費用 K=1 基地積み込み・取卸し, 現場積み込み・取卸し			D=37 運搬質量(t)		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
重油 A重油 1種2号	3.7	10L			T0205 37/10
高級船員	1.20	人			R0260 1*1.2
普通船員	1.20	人			R0270 1*1.2
交通船 FRP製 D180PS型10.0GT	1	日			M4429 運転1日当り損料
損料（供用）	1.65	日			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 運転1日（就業8時間）			B=1	FRP D 180PS型 10.0t 132kW	